KARIGANE

かりがね

No 401

[季刊] かりがね

発行人／社会福祉法人かりがね福祉会
昭和 54 年 9 月 26 日　第三種郵便物認可
3、6、9、12 月 1 日発行
2023 年 6 月 1 日発行

愛

Contents

表紙　在宅支援センターえーる
裏表紙　感謝録　編集後記
理事長あいさつ…… 1P
総合施設長あいさつ …… 2P
2023 年度職務分担表…… 3P
新任管理者あいさつ　おくやみ …… 4P
のんびりわくわくスペース MOKU …… 5P
楽しい食事 …… 6P

地域とのつながりをより深めるために

「地域の全人生に幸せを～生成発展によって幸せを拡める地域共同体～」

理事長　小林　彰

社会とのつながりを再開

法人設立から４５年目を迎えることができました。ご利用者様やご家族様、そして運営会員の皆様、地域の皆様、関係者の皆様等々、多くの方々にご協力とご理解をいただき、ここまで歩んでまいりました。心より感謝申し上げます。

２０２３年度はコロナ禍でなかなか取り組めなかった社会との繋がりを再開したいと考えております。かりがね福祉会は「社会に開かれた施設」を掲げて、多くの方々からの資金と協力により設立されました。かりがね学園（現ライフステージかりがね）が開所してからずっと日常の様々な活動を通じて、あるいは、ボランティアの受け入れや地元小中学校との定期的な交流、地域清掃活動、ワークキャンプ、県内外での会員交流会、かりがねフェスティバルなどを通じて、多くの方々とつながり、交流の機会を持ってきました。その取り組みが現在のかりがね福祉会を築いてきました。

まだまだ新型コロナウィルス感染の心配はありますが、注意を払って地域とつながる活動に取り組んでまいります。

人を育てる

福祉の業界は慢性的に人手不足の状況にあります。今年度かりがね福祉会には短大、大卒の新規卒業生３名が入職しましたが、まだまだ人員が足りない状況です。引き続き人財確保に努めてまいります。

地域で生活されている方の中には福祉的な課題を抱えている方がいらっしゃいます。そういった方を支援するのは「人」（人財）です。私たちの事業所を利用されているご利用者様には様々な障がいがあります。そして、幾つものニーズを抱えています。適切な支援をするためには、正確な知識と確かな技術が必要です。専門性といってもいいでしょう。専門性を身に付けるには研修を通じた「学び」が大切です。学んで実践する。失敗したらそれをまた学びにして挑戦し続ける。そういったことを繰り返して、しっかりとした専門性を身に付けていきます。専門性を高めてご利用者様に喜んでいただけるような支援を提供してまいります。

かりがね精神を伝えていくために

かりがね福祉会の様子は、これまで機関誌などを通じて皆さんに伝えてまいりました。しかし、設立から４０年以上経つとかりがね福祉会の歴史を知らないスタッフも多くなってきています。かりがね福祉会の歴史を通じて、かりがね福祉会がずっと培ってきた「かりがね精神」を伝え、引き継いでいく必要性を感じています。昭和５９年（１９８４年）に初代園長だった故岩見太市氏が、「かりがねへの道」を出版してから約４０年、これまでの歩みをまとめていきたいと考えております。

これまで関わってきてくださった方々からもお話をうかがいながら、かりがね福祉会の歴史をまとめて精神を引き継いでいきたいと思っております。

もう一度、自分達がなすべきことを考えて

総合施設長　遠藤　良和

ここ真田の郷の山々にも若葉が萌え、風薫る清々しい季節となりましたが、かりがね福祉会をご利用いただいている皆様、ご家族の皆様、そして、地域の皆様、運営会員の皆様、関係各機関の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

当法人の運営につきましては、日頃より格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

新年度開始にあたり、以下に今年度、重点的に取り組んでまいりたい目標を述べさせていただきます。

(1) 新型コロナウイルス感染対策緩和後の対応について

感染対応に追われた激動の一年が終わり、かすかな希望の光が見えようとしているなか、穏やかに新しい年度を迎えることができました。5月8日の5類引き下げ後の対応については、昨年度中より議論を重ねてまいりましたが、基礎疾患をお持ちの方、ご高齢の方が多く在籍されているということを鑑み、これまでの三年間、数々の制約をお願いしてきた日々の活動をできる限り保障できるよう努めながらも、引き続き、ご利用者様の安全を第一に考えた無理のない移行を進めていきたいと思います。また、これまで中止を余儀なくされていた地域の方々との行事や交流の機会も増えていくことから、緩和後の地域貢献のあり方、地域の皆様方との関係の再構築についても改めて考えてまいりたいと存じます。

(2) ご利用者様の人権擁護と虐待防止への取り組み

新聞やテレビ、インターネットのニュースで、連日のように障がいやご病気をお持ちの方に対する虐待案件の報道がなされています。当法人でも毎年、全職員を対象とした『権利擁護・虐待防止』に関する研修を実施しておりますが、私どもと同じ福祉施設や精神科の病院などで起こったそれらの案件は決して他人事ではありません。ご利用者様を尊重するという権利擁護の意識、専門性に基づいた支援に関する正しい知識や技術、皆が働きやすく風通しのよい職場環境づくり、それら全ての不可欠で大切な要素を一歩一歩高めていけるよう、今年度も法人全体で取り組みを進めていきたいと存じます。

(3) 人財育成への取り組み

福祉の職場における人材難が常態化し、県内の福祉施設でも人材の確保が極めて厳しい状況となっているなか、大変ありがたいことに、この春も３名の新人職員を迎えることができました。私どもの法人を選んでくれた同じ志を持つ大切な仲間を先輩職員みんなで応援し、ともに困難を乗り越えて互いに成長を実感できるような職員集団を目指すとともに、毎日、気持ちよく働ける職場環境と研修を始めとする学びの場を法人として整備していきたいと思います。また、これまで数年間、取り組んでまいりました各事業所の役職者をはじめとする次世代の中心的担い手の育成にも引き続き取り組んでまいります。

図らずも三年の長きにわたり、各事業所ひいては法人運営における最大の懸案事項となった新型コロナウイルス対策でしたが、感染の再拡大の心配はあるものの、社会全体が新しいステージに進もうとしている現在、私どもも単なる回帰ではなく、この苦難の期間に皆で学んだことを礎に、もう一度、自分達がなすべきことを考え、常に足元を意識しながら、謙虚にそして地道に本業に取組んでまいりたいと存じます。若いスタッフ達も多いことから、関係する皆様におかれましては、どうかあたたかい目で見守っていただき、あわせてご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

2023年度 職務分担表（2023年4月1日現在）

1 かりがね福祉会役員

理事長　小林　彰
副理事長　塚田　弘人
業務執行理事　遠藤　良和
理　事　清水　俊治　山崎　寿雄　小林　典子
滝沢　博文　遠藤　良和
監　事　樋口　俊文　横沢　正
評議員　青木　和男　笠原　茂正　中村　彰
渋沢　俊道　大塚　良治　渡邉　務
宮下　俊哉　千野　祐樹　保母　和子

2 法人本部・事務局

総合施設長・事業部長・人事部長補佐　遠藤　良和
財務部長・人事部長　清水　栄紀
アドバイザー　塚田　弘人
スタッフ　三井まゆみ　西　由美子
佐々木由佳　堀内　幸広

3 ライフステージかりがね

管理者　三井　千愛
管理者　坪田　理
主任　長　竜平
サービス管理責任者　久保田　哲　松川美由樹
（サービス管理責任者）　高寺　稔
アドバイザー　半田　正直
スタッフ　志賀　洋子　坂口みゆき　倉島　佑介
川又　亮太　中村　史織　水沢　勇人
佐竹　明　唐沢　智衣　米倉　希
齋藤めぐみ　小松有加里　堀内　瑛人
林　真奈未　小林　漢　海沼遼太郎
矢代　千果　秋山久美子　樋沢早帆美
小平　紗衣　峯村ひかり　下城　晃
柏原　伶奈　小林　美優　原田　倫佳
（宮川亜由美）
医療　牧田万佐子　平沢世里子　堀内のり子
栄養士　小林　千春　渡辺　早紀
朝食支援　山崎　喜代　小林　治藏
寄り添い支援　永井久美子　若林　智子
洗濯・清掃　清水まゆみ

4 共同生活サポートセンター

管理者・サービス管理責任者　山浦　貴志
主任・サービス管理責任者　石坂　千春
サービス管理責任者　堀内　翔一
（サービス管理責任者）　髙遠　勇
アドバイザー　竹井　達郎（兼務）
スタッフ　北澤　栄子　山崎まゆみ
吉田　美咲　福原なみ子
坪田　ゆか　岡崎　慎一
新井　瑞生　尾﨑としえ
中村　智絵　苫米地優介
青木　広美　小室　彰子
吉橋梨々花
食事支援世話人　三井由美子　加藤由美子
久保田靖子　横山　信子

5 さなだの杜

管理者　小田切玄和
主任　奈良　司
サービス提供責任者　小田切玄和
（サービス提供責任者）　髙寺　裕也
サービス管理責任者　出浦　友里
（サービス管理責任者）　田矢　雄介
アドバイザー　竹井　達郎（兼務）
スタッフ　市村　友一　安田　剛　森島　優典
小林　優太　佐々木　崇　唐沢　郁哉
竹内絵里子　内堀　裕也　中島花菜子
片山　智憲　牧内　麻美　林　明徳
木藤　福美　髙井　諒
洗濯・清掃　金沢　綾

6 在宅支援センターえーる

管理者　荻原　恒平（兼務）
主任　脇田加奈恵
サービス提供責任者　的場　真
スタッフ　佐藤ひとみ　堀内みな美　佐藤　知里
大池　聡　青木　妙子　齊藤　絢美
合原　真矢　石巻　愛莉
小林　彰（兼務）【萩　紘樹】

7 OIDEYO ハウス

管理者　久保　雅信
主任　堀内　敬祐
サービス管理責任者　関谷　美咲
スタッフ　長谷川亜由美　高橋　輝男　平林はるか
小林　裕幸　加藤　美奈　丸山　貞子
北澤　栞　東城　治美　大川恵美子
小林あか里
佐田　芽衣（兼務）（花岡　由衣）
医療　櫻井亜津美　金沢美智子
送迎　菊池　恒男

8 アトリエ Fuu

管理者　阿部　達也
主任　関谷　浩行
サービス管理責任者　太田恵里奈
スタッフ　堀内　文康　垂見　美雪　菊地　剛
清水真紀子　田矢佳央里　坂口かりん
佐田　芽衣（兼務）
医療　飯島　理佳

9 風の工房

管理者　工藤　淳
主任・サービス管理責任者　古平　卓郎
サービス管理責任者　塩崎　都衣
スタッフ　伴野　慶　関口誠一郎
豊永多鶴子　矢島美由貴
石井　大輔　翠川　清子
佐田　芽衣（兼務）
医療　横山　正子　三浦　佑子

10 つつじ

管理者　松井　良伸
アドバイザー　小林　彰（兼務）
スタッフ　本多　未郷　川岸　由佳　高岡恵美子
関谷　保雄

11 ミライエ

管理者　荻原　恒平（兼務）
主任・児童発達支援管理責任者　和久井翔太
児童発達支援管理責任者　北沢　成美
スタッフ　髙木かおり　滝沢めぐみ
萩　紘樹　小市　弥生

12 SHAKE（シェイク）

管理者　秋山　京子（出向）
スタッフ　東山　史江　黒岩　芳広　新津　大介（出向）

新入職員紹介

吉橋　梨々花

小林　美優

原田　倫佳

新任管理者あいさつ

15年目を迎えて

共同生活サポートセンター
管理者 **山浦貴志**

かりがね福祉会に入職させていただき、早15年目を迎えました。入社前は建築関係や販売の仕事をしていましたので、福祉の経験がない私は不安でいっぱいだったことを思い出します。不安だった日々の支えは、素直で純粋なご利用者様の挨拶や言葉、そしてご家族様からのあたたかい言葉、頼れる先輩方の支えでした。仕事を転々としていた私ですが、ここまで続けられているのも日々の支えや出会いがあったからだと思います。感謝でしかありません。今年度も新入職員が入り、異動して不安なスタッフも多いかと思います。今度は私が先輩方から学んだことを継承し伝えていければと思います。休日は登山が趣味で身近な山から浅間山や八ヶ岳、アルプスに行くことがあります。登山中は誰かに会うと自然と挨拶を交わし、会話が弾むこともあります。これは山頂を目指す同じ目的を持っているからだと感じます。かりがね福祉会にも『地域の全人生に幸せを』との理念があります。今年度からは共同生活サポートセンターの管理者として緊張の日々だと思いますが、日々学びながら共に成長し、同じ方向に進んでいけるように努めていきたいと思います。また、ここ3年はコロナの影響でご利用者様には外出制限があったり、イベントの縮小や中止と窮屈な生活だったと思います。少しでも思い出の1ページが増やせるように企画していきたいと思います。最後になりますが、ご利用者様が安心・安全・笑顔で生活ができるように、より精進して参りたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

さなだの杜 管理者就任のご挨拶

さなだの杜
管理者 **小田切玄和**

私こと、このたびさなだの杜管理者へ就任いたしました小田切玄和です。身に余る重責ではございますが、ご利用者様のより良い生活や日中活動をご提供できるよう尽力いたす所存でございます。かりがね福祉会へ入職して13年務めさせていただきました。右も左もわからぬままえーるにて自閉スペクトラム支援を学ばせていただいた経験と、ご利用者様と一緒に働いたり、活動したり、外部へ行く経験を積ませていただいたOIDEYOハウスでの経験を経て、えーるさなだの杜へ戻って参りました。そこで待ち受けていたのは新型コロナウイルスの影響による自粛生活の毎日でした。先の見えない生活をご利用者様へご協力をいただかなければならない日々は、ご利用者様はもちろん、スタッフも疲弊していく毎日でした。改めて感じたのは、人は人や社会との繋がりが無ければ幸せで豊かに生活していくことができないのだという事です。2023年度、日本もようやくアフターコロナの時代を迎え、新たな生活様式を確立していかなければなりません。地域との繋がりや関係機関とのネットワークを大切に、スタッフ一丸となってご利用者様が地域で安全・安心・心地良い生活ができるよう支援して参りますので、どうかご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

今年度、さなだの杜で力を入れていく取り組みといたしまして、以下を掲げさせていただきます。

1, 事業所ヴィジョン実現の為の取り組み
【地域の中で安全・安心・心地よい生活を全力で応援する事業所】
2, スタッフ連携システムの構築と強化
3, スタッフの人財育成と虐待防止の取り組み
4, アフターコロナの時代を生きるための新たな生活・日中活動の土台形成

おくやみ

さようなら、矢島慎一郎さん

2023年2月21日逝去　49歳

「おはようございます!」「ありがとう!」と、いつも大きな声でスタッフに挨拶、お礼をして下さる矢島慎一郎さんが急逝され、私たちは悲しい気持ちで一杯になりました。

慎一郎さんは風の工房を利用されることを、ご自分の「お仕事」と考えていました。紫、青を好み、季節により配色を変化させ、独自の絵画作品を描かれていました。昼食の時、「おいしいね～」と召し上がる様子が印象的でした。上田の街で中華料理や、じまん焼きを食べることも楽しみにされていました。亡くなられた約1か月後の3月26日は50歳の誕生日であり、3月は慎一郎さんが「グッとくる」紫の花が咲き始める季節でした。

慎一郎さん、初夏になり今年も風の工房には、紫のアヤメがたくさん咲いていますよ。心よりご冥福をお祈りいたします。　（風の工房スタッフ一同）

さようなら、恩田侑馬さん

2023年3月24日逝去　36歳

「恩田侑馬さん　ありがとうございました」

侑馬さんは、人との関りが大好きな方でした。スタッフの手をそっと握ったり、溢れる笑顔を時折り見せてくださる姿が印象的でした。
好物はお肉料理や甘いスイーツで、食事や外食時には、嬉しそうな表情で召し上がっていました。侑馬さんがいると、その場が「和やかになる」そんな雰囲気をもっている人でした。心よりご冥福をお祈りいたします。　（小松）

3年間恩田さんの担当させていただきました。コロナ禍で今まで通りの事がなかなかできない中でしたが、出来る限りたくさんの思い出を共有させて頂きました。いつもニコニコされ人と関わることが大好きだった恩田さんを支援させて頂けたことは私自身とても楽しく、そしてとても勉強させていただきました。本当にありがとうございました。ご冥福をお祈りいたします。　（竹内絵里子）

のんびりわくわくスペース MOKU

● MOKU ってどんなとこかな？？

大きな特色としては集団での活動を基本としていますが、その時々に合わせ少数で分かれて活動しています。1週間毎の予定もスタッフと相談しながら自分たちで決め、それに基づいて行動しています。

●現在6名のご利用者様がご自宅やグループホーム（さなだの杜）から MOKU に通われています。MOKU で過ごされるご利用者様たちの活動や作業・イベント等をご紹介していこうと思います。

● MOKU ご利用者様の自己選択を尊重しつつ、週末お茶会を開き、次週1週間の予定を決めています。ほっと一息ついてお茶を飲みながら「どうする？」「何したい？」「こうしたいなー」等のんびり和気あいあい。談話しながら決めています。

●1週間の予定表

●本日の予定表

● MOKU ご利用者様の活動紹介

AM　歩く場所は曜日等で変え、少人数に別れて歩行されています。

PM　ご利用者様によって活動が異なります。自律活動・周辺歩行・毛皮作業・ドライブ等。。。その他週2回のレクリエーション・月1回の音楽療法があります。楽器に触ったり、音楽に合わせて身体を動かしたり思い思いに楽しみを持って過ごされています。また毎週のお楽しみとして、午後におやつ作りをしています。何を作りたいかは事前に相談し、自分たちで買出しにも行きます。おやつを作っている時・出来た時・食べた時など達成感に満ち溢れた表情でニッコリ笑顔でほほ笑んでくれます。その他季節に合わせたイベントもあったり。。。リフレッシュ・・・！！

●活動風景

毛皮作業に打ち込む姿 輝いてます！！→

↑おやつ作り買い物

● MOKU に新しいお仲間の S さんが入りました！！

早速歓迎会を開いて S さんをお出迎えしております。初めは不安があるかもしれませんが徐々に MOKU のみんなとの生活になじんでいく事で「MOKU に来ることが楽しみ！！」になるようにお手伝いさせていただきたいと思います。

楽しい食事

ライフステージ
かりがね

ライフステージかりがねの食事について紹介したいと思います。ライフステージかりがねの食事は、施設内に厨房があり委託の専門職員さんが調理しています。食事の献立は栄養士の方が考えて下さり、毎週金曜日に翌週分の献立を準備し日曜日にご利用者様のいるリビングに貼りだされます。

献立では、季節によって【春献立、夏祭り献立、秋分の日献立、クリスマス献立、新年会弁当】とあり、春献立には桜ご飯、桜型ハンバーグ。夏祭りには、屋台でお馴染みの焼きそば、唐揚げ等が出ます。秋分の日にはおはぎが出ます。クリスマス献立には、クリスピーチキン、グラタン、ミネストローネ。新年会弁当では、いなり寿司、太巻きなどのお楽しみメニューがあり、毎年その時期になるとご利用者様が楽しみにされています。

★１週間の献立で曜日ごとに決まっているメニューがあります♪★

✽火曜日・金曜日✽
【朝食】納豆
（めかぶ、しらす）

✽金曜日✽
【夕食】カレーライス or シチュー

✽木曜日・日曜日✽
【朝食】ロールパン

✽土曜日✽
【昼食】食パン

✽日曜日✽
【昼食】麺類（パスタ、ラーメン、うどん、そば、そーめん）

↑春献立メニュー

↑新年会メニュー

生活する中でご利用者様から「今日はカレーだから余ったら少し増やしてな♪」と話してくださることもあります。　また、毎日就寝前に必ず翌日のメニュー表をご覧になって行かれるご利用者様も数名おり、日々生活する中で食事の楽しみを感じて頂いています。

★食事アンケートの実施★

ご利用者様に【好きなご飯ものアンケート調査】を行なった結果１～３位が以下の結果になりました。

・ラーメン　・焼きそば　・うどん　・パスタ　・カレー　・シチュー　・パン

●第１位／ラーメン

●第２位／カレー

●第３位／焼きそば

好きなご飯ものメニューも豊富で、ラーメンでは醤油と味噌ラーメン。カレーでは野菜とチキンカレー。焼きそばではソースと塩焼きそば。うどんでは山菜、月見うどんなど、週によって具材をアレンジしています。また、ご利用者様個々の栄養バランスを考えて嗜好品を召し上がる方もおり、それぞれの方に適したおやつなどにも対応しています。

今後も食事を楽しんで、健康に生活ができるように支援していきたいと思います。

感謝録

皆様のご支援・ご協力に感謝申し上げます。
※敬称略させていただきます　2023年1月1日－2023年3月31日

寄贈物品

高寺陽子　いちごの家　宮崎拓男　山口けさみ
馬渡令子　小竹昭雄　佐藤汰嘉子　富所順子　匿名
アルミ缶　牛乳パック　マスク　布　ふきのとう　以上

寄付金

三井由美子　田中快秋　矢島節子　　115，000円

2022年度運営会員ご入会者

■長野県　小林彰　久保雅信　堀内翔一　山浦貴志
石坂千春　坪田ゆか　苫米地優介　髙遠勇　竹井達郎
北澤栄子　山崎まゆみ　吉田美咲　福原なみ子
岡崎慎一　尾崎としえ　中村智絵　青木広美
小室彰子　三井由美子　加藤由美子　横山信子
相馬律子　樋口俊文　小林典子　塚田弘人
坂本けい子　久保田靖子　阿部良雄　紅林奈美夫
尾島信子　北澤雄司　竹田淳一　中沢正子　荒木克子
保母和子　二木浩
■東京都　中嶋泰子　学校法人女子学院
■千葉県　森本由起子

2022年度運営会費納入金額

（2022年4月1日～2023年 3月31日）

	会員数（名）	会費（円）
長野県	295	1,060,654
北海道	2	8,000
東北地方	2	11,000
関東地方	30	308,000
中部地方	5	42,000
北陸地方	2	8,000
近畿地方	3	21,000
中国地方	1	3,000
四国地方	0	0
九州地方	0	0
合計	340	1,461,654

［訂正とお詫び］
400 号（春号）【ほっとたいむ】記事内にて名前の漢字に誤りがありました。
ここに訂正してお詫び申し上げます。
誤）田中圭さん
正）田中桂さん

編集後記

春の訪れを感じつつ、新年度を迎え身が引き締まる中、新しい機関誌編集委員会のメンバー 9 名で 401 号の編集をさせていただきました。読んで頂ける方にかりがね福祉会をもっと知って頂き、みんなに優しく、手に取りやすい機関誌を目指して委員と機関誌に関わる方みんなの力を一つにして頑張れたらと思います。

漫画『進撃の巨人』で、ミケ・ザカリアスが自分と仲間を奮い立たせる場面で「人は戦うことをやめた時初めて敗北する」と言っていました。戦いをやめた瞬間に敗北は決まってしまいます。

自分が今やりたいこと、頑張りたいことに立ち向かっている限り負けたことにはならない。機関誌編集委員会ではスキルアップ研修などにも取り組んでいこうと考えています。みなさんも何かに挑戦してみませんか？　　小松

社会福祉法人 かりがね福祉会

URL https://karigane.or.jp

■法人本部／ライフステージかりがね　〒386-2201　長野県上田市真田町長 6430-1　TEL.0268-72-3431　FAX.0268-72-4406
■つつじ　〒386-2201　長野県上田市真田町長 7166-8　TEL.0268-75-5431　FAX.0268-75-5434
■共同生活サポートセンター　〒386-2202　長野県上田市真田町本原 531-1（よつばのいえ内）　TEL/FAX.0268-72-2434
■さなだの杜　〒386-2201　長野県上田市真田町長 6430-1　TEL/FAX.0268-72-0133
■在宅支援センターえ～る　〒386-2201　長野県上田市真田町長 6430-1　TEL/FAX.0268-72-8022
■風の工房　〒386-2201　長野県上田市真田町長 2464-1　TEL/FAX.0268-72-2151
■OIDEYO ハウス　〒386-2203　長野県上田市真田町傍陽 8551-2　TEL/FAX.0268-73-0005
■OIDEYO ハウス（分場）　〒386-2202　長野県上田市真田町本原 1491　TEL/FAX.0268-72-5067
■アトリエ Fuu　〒386-2202　長野県上田市真田町本原 531-2　TEL/FAX.0268-72-1061
■ミライエ　〒386-2201　長野県上田市真田町長 7166-8　TEL/FAX.0268-71-7810

会員・読者の皆様からのご意見・ご感想お待ちしています。「機関誌編集委員会」までお寄せ下さい。

https://ws.formzu.net/sfgen/S311362702/

［季刊］かりがね
二〇二三年六月　昭和五十四年九月二十六日第三種郵便認可
発行　社会福祉法人かりがね福祉会
編集　機関誌編集委員会
制作・印刷　㈱アオヤギ印刷
【定価】100円